

9:35 ▶ 10:35 基調講演 K3 センチュリールーム



IT 総合戦略の推進

少子高齢化や人口減少が進む中、国民生活の質の向上や産業競争力の強化を図るには、官と民、中央と地方が一体となり社会全体のデジタル化を進めていくことが不可欠です。

12:00 ▶ 12:45 ランチョンセッション L5 会場① グラスホール

来たるDX時代、IT部門は何をすべきか

自社のDXが思うように進まない。そう感じている方は多いかもしれません。なぜでしょうか。IT部門と事業部門に距離がありすぎる？企画が悪い？スキルが足りない？



株式会社 アイ・アイ・エム 営業統括推進部 SCP部 長浦 優氏

The Enterprise Immune System : 世界をリードするサイバーAI L6 会場② 天 平

ますます高度化・増加するサイバー攻撃や内部脅威に対し、完璧な防御はもはや不可能です。ダークトレースの Enterprise Immune System 技術は、ケンブリッジ大学の専門家により開発された機械学習と数学理論を応用した新機軸のセキュリティ対策です。

本日は、数々の未知の深刻なサイバー攻撃を検知してきた、クラウド、仮想、企業ネットワーク、IoT、産業用システムを含むあらゆるデジタル環境で機能するダークトレースの自己学習型アプローチについてご紹介いたします。

ダークトレース・ジャパン株式会社 執行役社長 芦矢 悠司氏

10:45 ▶ 11:45 特別講演 K4 センチュリールーム



デロイト トーマツ グループ 執行役 CTO (Chief Technology Officer) 安井 望氏

戦略を実現するためのDXとは ~DXの本質を理解する~

昨今取り沙汰されるデジタルトランスフォーメーション(DX)という言葉の意味は広く、何を実現しなくてはならないのか、何がゴールなのかははっきりとしないケースも多いのが実情です。

松花堂弁当つき L8 会場③ 平 安

イノベーションを生み出す「エフェクチュエーション」 ~起業家の行動にはパターンがあった~

インド人経営学者のサラス・サラスバシーが優れた起業家には共通の思考プロセスがあることを発見・体系化した「エフェクチュエーション」として、発表しました。

「エフェクチュエーション」は、過去の情報から未来を予測できない状況でイノベーションを生み出す理論です。本セッションでは、前職にて社内のARビジネス立ち上げを始め、Eclipse FoundationでのProject設立など、社内イノベーターとして貢献した経験や、現在の人工知能分野でのビジネス実体験をもとに、この理論に迫ります。



Singular Technologies 代表 森出 茂樹氏

13:00 ▶ 14:10 ディスカッションテーブル A5 会場① グラスホール

あなたのそばにいるのは未来から来た「ネコ型ロボット」？ ロボットとの上手な付き合い方を考えましょう！ ~代表的なチャットボットとRPAの事例を探る~

働き方改革ブームもあり、チャットボットやRPAはここ数年で導入企業が増えるなど、「ロボット」は今がまさに旬となっています。一方で「PoCで成果がでない」「コンプライアンスやセキュリティが心配」などネガティブな声も多く聞かれます。

「ロボット」は本当に企業の課題解決に資するのか、特に代表的な「AIチャットボット」と「RPA」について事例を基に悩みのタネを共有しながら、成功するための活用ポイントについて探ります。



日清食品ホールディングス株式会社 情報企画部 次長 中野 啓太氏



鹿島建設株式会社 ITソリューション部長 河村 一氏 日本郵便株式会社 執行役員 IT企画部長 中井 克紀氏 野村證券株式会社 コーポレートIT部長 和泉 哲郎氏

2025年の産 システム部門に求められる人材はどう変化していくのか B5 会場② 桃山A

かつてなく先が読みにくい難しい時代となった今、既存システムを柔軟に変化へ対応させつつ、新たな経営課題に応じていくためには、これまでの経営や事業部門、パートナーとの関係を超えた、新しいシステム部門として求められる人材像を描きながら進んでいく必要があります。



キャノンマーケティングジャパン株式会社 IT本部 ITシステム企画第一部長 小出 正美氏 住友林業株式会社 ITソリューション部 技師長 宮下 隆司氏 森永乳業株式会社 経営戦略本部 IT改革推進部長 浜田 和久氏

IT人材をどう確保するのか ~少子高齢化時代の人材獲得とリテンション施策~ C5 会場③ 桃山B

近年、各社企業ではDXに向けた取り組みが加速化し、ITグループ会社においてもIT人材の確保が難しくなっています。一方で企業の中でも少子高齢化が進み、雇用延長などシニア世代の活用も各企業で検討が進んでいる状況です。



インフォコム株式会社 エンタープライズ事業本部 本部長 金子 高志氏 MS&ADシステムズ株式会社 開発第三本部 副本部長 富田 昌幸氏 コベルコシステム株式会社 専務取締役 システム事業部 事業部長 瀬川 文宏氏 千代田システムテクノロジーズ株式会社 理事 ITサービス事業本部 本部長 保坂 成利氏

JUAS クローズアップセッション D5 会場④ 白 鳳

DXプロジェクトを成功に導く 異業種協創型の人財育成アプローチ

DXの特徴は、ユーザーや顧客の要件がはっきりしていないことです。取組み方次第で、今までにない体験や思いもよらない価値が生まれてきますが、問題は顧客の価値を導き、アイデアを創造し、ビジネス実現の妥当性を検証できるスキルとノウハウです。



花王株式会社 情報システム部門 EBE部 部長 濱田 文吾氏 (JUAS イノベーション経営カレッジ Challenge Camp 総合ナビゲーター)



14:30 ▶ 15:15 コンサルティングセッション A6 会場① グラスホール

データドリブン組織醸成のロードマップ - Tableau Blueprint - A6 会場① グラスホール

新しい時代において全ての企業がデータカンパニーであり、全ての人々がデータパーソンであると言われていきます。そのために、企業や組織でデータ文化を構築する必要があります。

またこれらを推進するためのアプローチ方法、組織改革、人材覚醒の手法、課題発掘方法についても共有します。



Tableau Japan 株式会社 社長 佐藤 豊氏



Tableau Japan 株式会社 セールスコンサルティング シニアマネージャー 道山 修一氏

人材不足は本当か？ 強い企業IT基盤を実現するための情シスと業務部門の協調戦略 B6 会場② 桃山A

デジタルトランスフォーメーションが加速し、情報システム部門(情シス)への期待値は高まり続けています。

しかし、限られた人材が既存システムの運用保守に追われているのが情シスの現状です。情シスが新しい活動を人手を割けない事態を脱し、業務部門の期待に応えるためには何が必要でしょうか？人口減少時代の情シスを支えるプラットフォーム戦略について、サイボウズから提言します。



サイボウズ株式会社 ビジネスマーケティング本部 エンタープライズ・ストラテジスト 小林 悠氏

信頼できる唯一の情報源としての コンテンツ・プラットフォームの想創 C6 会場③ 桃山B

多くの企業でクラウドストレージの導入が進んでいます。しかしながら、ただのコンテンツの保管場所として利用され、クラウド本来の目的である「ビジネスへの貢献」や「意思決定の速度向上」へ貢献できていない企業も多いのも事実です。

“Single Source of Truth” (信頼できる唯一の情報源)としてコンテンツ・プラットフォームを構築し、網羅的かつ信頼できる情報を素早く入手できる環境を手に入れ、デジタル変革を可能にした企業様の好転曲折の事例をご紹介します。



株式会社 Box Japan 執行役員 Sales Engineering & GTM Enablement 部長 西 秀夫氏

JUAS クローズアップセッション D6 会場④ 白 鳳

デジタル化時代におけるユーザー企業の備え D6 会場④ 白 鳳

デジタル化への対応が各企業の喫緊の課題となっている今日、2019年1月に野村総合研究所とJUASで実施した「デジタル化の取り組みに関する調査」の結果を踏まえて、新たな時代に向けたデジタルトランスフォーメーションについて、お話しします。



株式会社 野村総合研究所 システムコンサルティング事業本部 ITマネジメントコンサルティング部 上級システムコンサルタント 塩田 郁実氏

15:30 ▶ 16:15 事例セッション A7 会場① グラスホール

新スタイルの銀行を目指したセブン銀行の挑戦 ~オープンイノベーションとAI活用~ A7 会場① グラスホール

チャレンジャーバンクであるセブン銀行が第二創業として、事業の再トランスフォーメーションに取り組んでいます。オープンイノベーションによる事業共創とAI等最新IT技術を活用した業務改革事例を紹介します。

またこれらを推進するためのアプローチ方法、組織改革、人材覚醒の手法、課題発掘方法についても共有します。



株式会社セブン銀行 セブン・ラボ 専務執行役員 松橋 正明氏

JPXアジャイル開発ガイドについて ~基幹系システムにアジャイル開発を適用した事例紹介~ B7 会場② 桃山A

近年、絶えず変化するビジネス環境に俊敏にシステムを対応させる開発手法としてアジャイル開発が注目されています。JPX(日本取引所グループ)においても、昨年稼働した基幹系システムの刷新プロジェクトにて、海外ベンダーパッケージの導入に際してアジャイル開発を採用、従来のウォーターフォール開発とのGapに苦しみつつも、試行錯誤の結果、無事完遂することができました。



株式会社 東京証券取引所 IT開発部 清算システム担当 統括課長 水田 耕太郎氏

ITを事業の武器として使う方法 ~デジタルものづくり~ C7 会場③ 桃山B

マーク・アンドリーセンがSoftware is eating the world.と予測して約20年。その勢いは増すばかりです。

弊社の名前でもあるKABUKU(かぶく)は、歌舞伎の語源でもあり、新しい価値観の発見と創造を意味します。ものづくり産業をソフトウェア化するためにはどうすればよいかを、ソフトウェア技術者視点とする弊社(スタートアップ企業)の取り組みを事例にご紹介いたします。



株式会社カブク CEO & CTO 足立 昌彦氏

JUAS FUTURE PRESENTATION 2019 D7 会場④ 平 安

2030年に向け、あなたのカタチにしたい想いは何ですか？ 公募によるスピーカーが「未来に実現したいこと」「未来に向けて挑戦していること」をお届けします！ D7 会場④ 平 安

※6分間で語るライトニングトークです。 ※会場にご参加の皆様による投票を行います。ぜひ会場でスピーカーの「想い」を応援してください！ ※表彰式は本セッション内で行います。

スピーカーは9、17ページ参照



16:30 ▶ 17:30 総括講演 K5 センチュリールーム



ヤフー株式会社 コーポレートエンバジェリスト Yahoo!アカデミア 学長 株式会社ウエイウェイ 代表取締役 伊藤 羊一氏

未来を創るリーダーシップ

テクノロジーの進化、社会の変化が激しい現代社会において、私たちは未来を創るリーダーとして何を考え、どう、生きていくかを考えます。人を導くリーダーシップ “Lead the People”のためには、まず自分自身を導く “Lead the Self” が大事であり、そのために必要なことは何か、講師自身の経験を題材に、どうやって考え、実行していけばいいの、を探っていきます。

